

# こぼと

守口市民生委員児童委員協議会  
編集 広報・調査部会



第75号

守口市京阪本通2-5-5  
守口市社会福祉協議会内  
〒570-0083 電話 6992-2715

## これからも ONE TEAM で!

令和元年12月2日に民生児童委員の一斉改選に伴う委嘱状伝達式が守口市役所で行なわれ239名の委員が、また令和2年4月1日には6名の委員が委嘱されました。(令和2年4月1日現在245名・うち新任委員53名)



新体制の下、私たち民生児童委員はこれからもワンチームとなって地域の皆様のお役に立てるよう努力していきます。

### 新役員

- |     |       |
|-----|-------|
| 会長  | 萩原 朋子 |
| 副会長 | 加藤 昌代 |
| 副会長 | 奥山 寿一 |
| 会計  | 阪本 晃子 |
| 相談役 | 小川 勝  |



### 会長あいさつ



令和元年12月2日の委嘱式後の臨時定例会において会長を仰せつかり、その責務の重大さに心を新たにしております。

一昨年は、大阪府に民生委員(方面委員)制度が創設されてから100年を迎え「大阪府記念大会」や守口市においても昨年1月に「守口記念大会」を開催し、広く委員の皆様や市民の方々に周知していただける機会となりました。

諸先輩方が永きにわたって築いてこられた実績の数々に、改めて感じ入る次第です。

### “12年間を振り返って”



それは突然のことだった。平成19年11月末の夕暮れ時、守口市民児協

役員と事務局が大勢で自宅に來られ、次期民生協会長にと要請された。普通の委員である私に何故?と思ったが、妻と相談の上引き受けることとし、それから12年...

前期役員さんが1人もおられず、役員全てが新任で、戸惑いと手探り状態の民生協運

守口市民児協としての活動「地域福祉の向上」「子育て支援、児童虐待の防止」「地域で孤立した人々を出さない」等の活動により、地域を『丸ごと』支える包括的な支援体制制作りに参画したいと思っております。地域の方々に知っていただける顔の見える民生児童委員・主任児童委員でありたいと願っています。

守口市民児協の委員全員が共に手を携え、行政、各関係機関、そして地域が協働し福祉活動に邁進できますよう、務めて参ります。

会長 萩原 朋子

菅が始まったが、地区委員長、部会長、多くの委員方と妻の協力を得て大過なく過ごせたことに有難く感謝しています。

その間、民生児童委員として行なうべきと感じた事業や運動を進め、その度に「また忙しくなる」と苦言も受け、決して良き会長ではなかったと反省しきりですが、自身は多くの人のとの出会いと体験を得て、終始楽しい12年間でした。

前会長(相談役) 小川 勝

### 新地区委員長

守口 地区	辻本 由紀
土居 地区	徳山 正廣
滝井 地区	佐竹 豊
春日 地区	安藤 佳江
三郷 地区	三浦 儀寛
寺方 地区	内山 芳治
橋波 地区	藤田 富美子
南 地区	間口 知津子
錦 地区	盛田 昭一
八雲東 地区	清水 昭實
八雲 地区	中尾 光代
下島 地区	寺尾 文子
庭窪 地区	中島 邦明
佐太 地区	岡本 みち子
梶 地区	市橋 智昭
金田 地区	山田 由紀美
東 地区	河野 順子
大久保 地区	山田 絹代
藤田 地区	千葉 義行

### 新任地区委員長コメント

皆様、お元気ですか。今年に入り、目に見えないウイルスで怯える毎日が続いています。毎年楽しみにされているイベント、各地域の会合、事業等が中止になり、皆様にお会いする回数も減り寂しいと思います。でも、こんな時こそ地域の皆様を支援する時だと



新地区委員長

思い、声かけ、見守り、安否確認の訪問をして、不安を少しでも和らげていただけたらと思います。委員一丸となり、協力し合い、地域の皆様に安心して生活を送っていただけるように努めて参りたいと思います。

橋波地区 藤田 富美子

### 新部会長



新部会長

生活福祉部会 児玉 三郎  
障がい・高齢者福祉部会  
児童福祉部会 山森 恭子  
大井由喜子  
広報・調査部会 寺島登志子  
主任児童委員連絡会 森 滝子

### 新年初会合

年号が平成から令和に変わり初めての新年初会合が1月17日(金)ホテルアゴラ守口において、ご来賓の方々とはとの会の諸先輩方をお迎えし、総勢200名の参加で開催されました。

今回は一斉改選に伴い、長年守口市民児協の発展にご尽力された小川前会長が相談役になられ、後任として萩原会長が就任され、新三役が脇を固めました。

ゲストには、これからの100年を目指し、益々の発展に向っていくのにふさわしい、四代目櫻川房丸氏と満若社中の皆様にお越しいただきました。江州音頭に合わせて多数の委員が会場を踊り回

若干3期目ながら、地区委員長をさせていただくことになりました。経験が少ないため大変不安ですが、役員はじめ事務局の皆さん、そして諸先輩方にご指導をいただきながら、背伸びせず一歩ずつ頑張りたいと思います。

春日地区は一人暮らしの高齢

者が増加しています。子どもたちの見守りも含めて、今後ますます役割が増えていくことと思います。地区委員の皆さんと伝統のチームワークで、思いやりのある活動をしていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

春日地区 安藤 佳江

り、委員相互の意識の向上と今後の守口市民児協の更なる福祉活動への前向きな気持ちで鼓舞するには十分な新年初会合になりました。

雑賀 武



江州音頭を熱演する四代目櫻川房丸氏と満若社中の皆様





# 管外研修

令和元年11月21日～22日

〔東尋坊からのメッセージ〕

「命の番人」茂 幸雄氏

茂幸雄氏は、福井県警を退職後「心に響く文集・編集局」を設立し、メンバーと共に東尋坊の岩場に立つ自殺志願者の助っ人役「人命救助活動」を毎日されています。パトロールでの「気づき」「声かけ」「傾聴」「解決」「自立支援」「寄り添い」「見守る」の活動を通じて600人以上を保護されてきました。

講演の後、私たちが実際にパトロールをして海風の強い断崖絶壁に立ち、足が竦む体験をしました。

翌日は、新元号「令和」の展示をされている「高岡万葉歴史館」に立ち寄り、2日間有意義な研修になりました。

北田 絹代



茂幸雄氏の講演に聴き入る委員たち

## 部会活動報告

### 児童福祉部会研修会

三世代ふれあいっ子における地域のつながりについて

人は一人では生きられない人の世話にならなければならないことを忘れてはいけない



人の役に立つ人間になれ(父の教え)

令和元年度最後の児童福祉部会の研修会が行なわれました。民生委員児童委員協議会前会長(現相談役)小川勝氏に講演していただきました。

今回この講演で新任の民生児童委員の方々にも事業内容を分かりやすく説明していただき、事業の立ち上げにおいて賛成・反対がある中での難しさを、ご苦労されたお話を聞くことができました。このお話を聞いて事業がどれほど大切かを理解し、私たちもこの事業に真摯に向き合っていく、私たちだけでなく地域

一体となって活動していくこと、地域の方たちにもご協力いただくことの大切さも改めて実感しました。次年度で「三世代ふれあいっ子」の活動内容を考え、2校で実施するために活動場所の確保などもしてまいります。

坂本 路子

### 障がい・高齢者福祉部会研修会

令和元年11月11日、大阪府手話通訳士の花山教子氏を講師に迎えて、聴覚障がい者を支援する心構えや接し方、さらに災害時における配慮すべき事を教えていただきました。

現在聴覚障害手帳の保有者は35万人。その内、手話ができる人は約半数で、高齢者はできない人が多いそうです。

コミュニケーション方法

・手話・指文字・口話・筆談・身振り・絵・メール・スマホ・電話リレーサービスなど

会話で大切な点は視線を合わせて、ゆっくり、はっきり口を開けて話し、色々な方法を試みることを。そして心が通じ合うようにと教わりました。

最後のゲームで、喋れない不自由さを体験しました。

取材・寺島 登志子



“大切なのは心の通じ合い”と語る花山教子氏

### 主任児童委員連絡会

#### 河北ブロック主任児童委員連絡会研修会

昨年10月21日、大阪電気通信大学寝屋川キャンパスにて、本年度2回目の河北ブロック主任児童委員連絡会の研修会が行なわれました。

最初に、夏に行なわれた全国主任児童委員研修会西日本大会に参加された方々の報告があり、続いて大阪水上隣保館の常務理事村井氏より『社会的養護の現状について』をテーマにお話をお聞きしました。水上隣保館は、第2次世界大戦直後に大阪湾で暮らす

水上生活者の子どもたちに手を差し伸べたことから始まったそうですが、今となっては生活苦よりも虐待事例からの養護が多くなり、その対応に苦慮されているとのことでした。子どもたちの満たされないところが「もの」から「ころ」へと変化しているのだと感じました。

最後に寝屋川市が取り組んでいる子育て応援プロジェクトについて詳しく説明していただき、とても参考になりました。

河北ブロック主任児童委員連絡会の研修会は、1年毎に河北7市が持ち回りで担当しています。次年度は枚方市です。どんな研修会になるのか期待し、勉強させていただきます。と思います。

神谷 慶子

### 俳句

青空に書をかき

大地に花活ける

夕立に樹立を泳ぐ魚になる

雲掃きて風の芸術天高し

大久保地区 山田 絹代

# 守口市児童虐待防止地域協議会研修会

## 「虐待により子どもの脳はダメージを受ける」

令和元年11月27日(水) 市役所1階会議室にて研修会が行われました。講師は児童虐待防止協会の神田真知子氏。

「地域における児童虐待の対応と関係機関の連携」についてご自身の経験を踏まえ、子どもを虐待から守り、親子を支える地域のネットワークが不可欠ことや、その組織の充実を強調されていました。

また講演の中で事例についてグループ討議を持ち、色々な考えを出し合いました。短い時間でしたが神田先生の進行により、とても有意義な学習ができました。子育て世代包括支援センターのアイデア

で座席を地区ごとに分けてくださったのも良かったです。

私たちは、地域と関連機関をつなぐ地道な活動を続けていくことによって、事案に直面した時に即座に対応できる信頼関係を築いていくことが必要だと感じました。

森 滝子



活動報告を発表する  
森主任児童委員

## 新任委員コメント

民生児童委員を引き受けて、私にできるのか心配でしたが、お宅を訪問して色々話を聞いてみると、「心の中のものやモヤが取れた」と言ってもらい、私も役に立てるのかな、頑張ってみようかと思うようになりました。

小笹 千代子

## コロナ禍に向けて

思いもかけない新型コロナウイルスの感染拡大とそれを受けての緊急事態宣言で、私たちの「普通の生活」は一変してしまいました。

## 春の勲章・褒章受章

瑞宝単光章

社会福祉功労

八雲地区

小川 勝 委員

瑞宝双光章

更生保護功労

庭窪地区

仲清次郎 委員

## おめでとうございます

新任委員研修を受けて、民生児童委員の活動内容の細

かさ、相談や支援の対応が相手によって大きく変わることなどに気づかされました。自分にできるだろうかという不安はありませんが、人のために何か力になりたいという気持ちを行動に移し、できることから頑張ります。

林 三津子

休校や不要不急の外出自粛要請などで、子どもたちや高齢者も大きな負担を強いられている今こそ、私たちの行う見守り・安否確認活動は「必要な」事業だと考えます。

選択肢は多くありませんが、無理のない程度の活動を継続し、みんなでの難局を乗り越えましょう。

奥山 寿一

## 事例 ファイル⑧

年に2回、中学校と民生児童委員とで「子どもたちに関する情報交換会」をしています。校長、教頭、生徒指導の先生と、民生児童委員は今回8名が参加しました。

最初に民生児童委員からの情報で、公園でボールが壁にあたるのがうるさく近所から苦情がきたこと、鬼ごっこで出入口とは違う所から道路に飛び出しているため危ないこと等をお伝えしました。

学校からは不登校が増えていることをお聞きしました。家庭環境が悪いことや基礎学力がないため学校が面白くないことなどで不登校になるケースが多いそうです。お酒を飲む生徒もいるとのことでした。

このように情報交換をして子ども達の様子をお互いが把握することができました。次回には小学校の校長先生も参加していただきたいと思います。

## 編集後記

昨年の12月に民生児童委員を委嘱されました。始めは何も分からず戸惑いしましたが、新任研修を受け、勉強しなければならぬ点が多くあることを実感しました。尚、大阪府民生委員(方面委員)制度が創設されて早一世紀が過ぎ、とても重要なものであることを痛感しました。これを基に「地域福祉の向上」「子育て支援、児童虐待の防止」「一人暮らし高齢者問題」等の活動を通じて積極的に参加し情報を共有し活用していきたいと思えます。また、今回より広報調査部会を担当することになりました。部会のベテラン委員の方々とともに協力し合い頑張りますのでよろしくお願います。

山本 憲三